

## 2018 春の年会・SNW 企画セッション プログラム概要

～ シニアと若手が語る高レベル放射性廃棄物問題 ～

Talk & Exchange on High Level Radioactive Waste Management Issue  
Between College Students and Veteran Experts  
(無料公開セッション、90分)

開催日時：2018年3月26日13時00分～14時30分

開催場所：大阪大学吹田キャンパス・H会場（U2棟 U2-213教室）

目的概要：高レベル放射性廃棄物の処分地について、昨年7月に政府が候補地の設定の足掛かりとして「科学的特性マップ」を公表。本件は世代を跨ぐテーマであり次世代の理解が欠かせない。ここでは、問題解決への進め方等についてシニアの見解を交えつつ若手の意見を広く問い、今後の学生や一般市民との対話活動などに資するものとしたい。

登壇者と役割：

- 座長及びモデレーター：SNW 針山日出夫（はりやま ひでお）
- 基調講演：講師 SNW 副会長 坪谷隆夫（つぼや たかお）  
「科学的特性マップの公表と最終処分場選定の進め方」
- 登壇者によるキーノートアドレス（発表順）
  - 三島理愛（みしま りあ） 東工大・原子核工学コースD1  
発表：国民の合意形成について
  - 青木祐太郎（あおき ゆうたろう）福井工大・原子力技術応用工学コース 博士前期課程2年  
発表：大型公共工事としての問題
  - 阪口碧依（さかぐち あおい）京都女子大・現代社会学部3年  
発表：高レベル放射性廃棄物の理科・社会～有効利用と現地見学の提案
  - 島津美宙（しまづ みゆ） 近畿大学・理工学部生命科学科4年  
発表：理解促進に向けたゲーム形式対話の提案

<セッション進行概要（案）>

- 13：00～13：05 座長による開催趣旨、目論見説明、登壇者紹介。
- 13：05～13：20 基調講演（基本認識の共有を目的に本件課題と論点の整理）
- 13：20～13：40 学生4人からのキーノートアドレス（約5分/人）
- 13：40～14：25 登壇者による討論、意見交換 他
- 14：25～14：30 座長による纏め、閉会リマーク

以上